



## “水道がない時代”のくらしの道具を約20点展示

### 4月22日から旧田中家鋳物民俗資料館で無料企画展

◎チラシあり

市は、4月22日～7月9日に旧田中家鋳物民俗資料館で、水に関係する民具や写真で昔のくらしを紹介するちよこっと展「水とくらし」を開催する。枚方で上水道の通水が開始されたのは昭和8年(1933)のこと。水道のない時代には井戸や川の水を、家の生活や農業など目的に応じて工夫しながら使っていた。今回の展示では井戸の釣瓶(つるべ)、人力で田んぼに水を揚げる水車(みずぐるま)など約20点を展示。担当者は「昔の人々の水をめぐる苦労や楽しみを知ってもらいたい」と話す。

期間中、展示担当学芸員が展示解説する「土間トーク」や、ちよこっと展で紹介しきれなかった事柄を話す「学芸員こぼれ話」も同館で開催。展示、関連行事ともに無料。

★展示するのは井戸の釣瓶と滑車、飲用の水を貯めておく水甕(みずがめ)、底から火を焚いて沸かす風呂桶、人力で水路の水を田んぼに揚げる水車(みずぐるま)、畑の散水のための底に開閉自在の栓がついた水掛担桶(みずかけたんご)、農業用のため池でフナやモロコなどをとる雑魚取網(じゃことりあみ)やかぶせという筒状の漁具など。

★土間トーク(開催日:5月13日・6月18日)

担当学芸員が展示会場で参加者と対話しながら、展示資料や水にまつわる昔のくらしについて解説する。

★学芸員こぼれ話(開催日:7月2日)

資料館学芸員2人が展示周辺の事柄について、お話する。今回は水にまつわる民間信仰などスライドを用いてお話する。

★旧田中家鋳物民俗資料館は古くから枚方上之町で鋳物業を営んでいた、田中家の鋳物工場と主屋を移築・活用した資料館。鋳物の歴史や枚方の民具を展示している。現存する江戸時代の鋳物工場は日本で唯一。主屋土間では、学芸員がテーマを定めた小さな企画展「ちよこっと展」を年3回開催している。

<お問い合わせ>

観光にぎわい部 文化財課 旧田中家鋳物民俗資料館

☎: 050-7105-8097 FAX: 858-4665

ちよこっと展

ひらかた万博  
HIRAKATA CITY

# 水とくらし

令和5年4月22日(土)～7月9日(日)

枚方で上水道の通水が開始されたのは昭和8年(1933)のこと。水道がない時代に、人々はどうのようにくらしていたのか、民具や写真などで紹介します。水を巡る知恵や工夫をご覧ください。



## 関連行事

土間トーク 土間が展示場のちよこっと展を、学芸員とお話ししながら見学します  
とき：5月13日(土)・6月18日(日)  
各日 午後2時～2時20分

学芸員こぼれ話 展示で紹介しきれなかった事ごらを、学芸員がお話しします  
とき：7月2日(日) 午後1時30分～3時  
いずれも参加無料。申込み不要。



枚方市立

きゅうたなかけいものみんぞくしりょうかん  
旧田中家鋳物民俗資料館

入館無料 月曜休館(休祝日の場合開館、翌平日休館) 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)  
電話 050-7105-8097 FAX 072-858-4665 枚方市藤阪天神町5番1号  
JR学研都市線 藤阪駅より徒歩7分 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/0000002648.html>